

ハスモンヨトウ情報第1号（ダイズ、キャベツ等）

令和6年8月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病虫害防除室

フェロモントラップの誘殺数が多い地域があります

1 発生状況

ダイズほ場に設置したフェロモントラップにおける7月第1半旬から7月第5半旬までの成虫の総誘殺数は、過去10年間と比較して、長久手市、弥富市、安城市、西尾市では平年並、豊田市では少ない状況です。なお、西尾市では6月第6半旬と7月第3半旬に誘殺数が急増しています（図1左）。

碧南市のニンジンほ場に設置したフェロモントラップにおける7月第1半旬から7月第5半旬までの成虫の総誘殺数は、過去10年間と比較して3番目に多い状況です（図1右）。

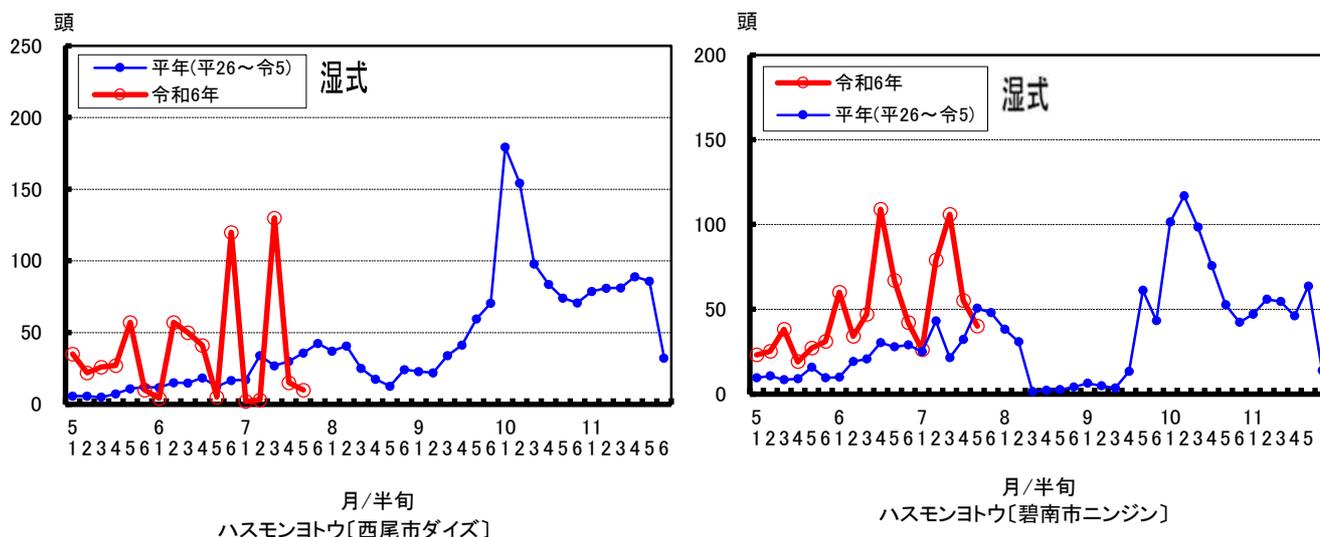


図1 フェロモントラップにおける成虫の誘殺数

2 今後の見込み

名古屋地方気象台8月1日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高く、降水量はほぼ平年並と見込まれています。本種の発生に好適な条件が予想され、今後、発生量が増加する可能性があります。ほ場を観察し、ダイズの白変葉（図2）や幼虫（図3）を確認したら表1を参考に防除しましょう。キャベツは定植に向けて、本種の発生に注意し、表2を参考に防除しましょう。

薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同じIRACコードの薬剤は連用しないようにしましょう。中齢以降の幼虫は、薬剤による防除効果が低い傾向にあるので、分散前の若齢幼虫期に防除しましょう。

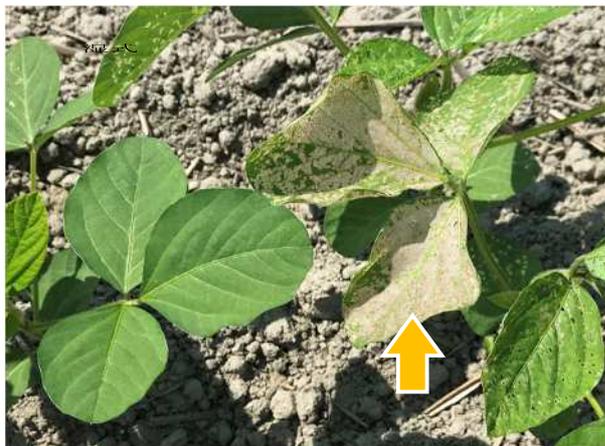


図2 ダイズの白変葉



図3 ハスモンヨトウの若齢幼虫

表1 ダイズのハスモンヨトウに対する主な防除薬剤

| 農薬名 | 使用時期 | 使用回数 | IRAC コード |
|------------|------------|-------|----------|
| トレボン乳剤 | 収穫 14 日前まで | 2 回以内 | 3A |
| トレボン粉剤DL | 収穫 14 日前まで | 2 回以内 | 3A |
| ノーモルト乳剤 | 収穫 14 日前まで | 2 回以内 | 15 |
| カスケード乳剤 | 収穫 7 日前まで | 2 回以内 | 15 |
| トルネードエースDF | 収穫 7 日前まで | 2 回以内 | 22A |
| プレオフロアブル | 収穫 7 日前まで | 2 回以内 | UN |
| プレバソフロアブル5 | 収穫 7 日前まで | 2 回以内 | 28 |
| ペガサスフロアブル | 収穫 7 日前まで | 3 回以内 | 28 |
| マトリックフロアブル | 収穫前日まで | 3 回以内 | 18 |

表2 キャベツのハスモンヨトウに対する主な防除薬剤

| 農薬名 | 使用時期 | 使用回数 | IRAC コード |
|------------|------------|-------|----------|
| エルサン乳剤 | 収穫 14 日前まで | 2 回以内 | 1B |
| マッチ乳剤 | 収穫 7 日前まで | 3 回以内 | 15 |
| プレオフロアブル | 収穫 7 日前まで | 2 回以内 | UN |
| トルネードエースDF | 収穫 7 日前まで | 2 回以内 | 22A |
| アニキ乳剤 | 収穫 3 日前まで | 3 回以内 | 6 |
| アクセルフロアブル | 収穫前日まで | 3 回以内 | 22B |
| ブロフレア SC | 収穫前日まで | 3 回以内 | 30 |
| ヨーバルフロアブル | 収穫前日まで | 3 回以内 | 28 |

IRAC コードは殺虫剤の作用機構による分類を示します。

IRAC コードの詳細は、https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/mechanism_irac03.pdfを参照しましょう。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。